

八幡宮と火伏せの神様

水戸市八幡町



水戸の八幡宮の境内には、火伏せの神様としてイザナギ・イザナミという二つの神がまつられている「鎮火之神二神宮」というお社があります。

むかし、江戸三大祭のひとつとされる、神田明神のお祭りがありました。各町内からにぎやかに飾りつけられた36台の花車がでて、それはそれは贅をつくした祭りでした。

ある年、神田佐久間町から新しい花車が出ました。そこには、イザナギ・イザナミの二神が、天の浮橋に立つ美しい姿が飾られていました。ところが、そのお祭りの夜、佐久間町から大火事が起こり、騒をかついだ町の人たちは、深川のある町にその花車を売り渡してしまいました。

翌年、富岡八幡のお祭りにこの花車が出たところ、またしてもその夜、町内に大火事が出たのです。その後、その花車はいわれを知らない水戸市の馬口労働町(現在の末広町)に譲られていきました。見事な花車に喜んだ馬口労働町では、早速八幡さまのお祭りに引き出しました。しかし、ここでもやはりその夜大火事になり、その花車の因縁を知った馬口労働町の人々は驚きました。

「神様を花車に乗せて引きまわしたりしたから罰があつたんだ」「八幡さまにおまつりしてはどうだろう」とみんなで話し合い、この花車は八幡さまに奉納され、その後は一度も引き出されることはありませんでした。

のちに町内に火事があつたとき、消火にあたつた若者たちとは別に、このいわれを知つていた年寄りがこの社にお参りし、大事にいたらずに済んだという話が伝えられています。

その後、太平洋戦争で水戸の町は空襲を受け、焼け野原になってしまいましたが、八幡宮は焼失をのがれました。

もともと「火を好む神」といわれた二神ですが、現在は「火伏せの神」として多くの人たちに信仰されるようになったということです。

〈参考文献〉水戸の民話(藤田稔編著)



【問合せ先】水戸八幡町 TEL.029-226-8854
【アクセス】水戸八幡町8-54(水戸インターより約20分)

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU 茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(大代) <http://www.ibaraki-isuzu.co.jp>